

研究の実施に関する情報公開文書

本研究は、倫理審査委員会の審査を受け、鹿児島医療センター院長の承認を得て行っているものです。研究趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 研究の概要

研究課題名 ベッドサイドカンファレンス導入による看護師のリスク感性との関係～転倒・転落発生減少を目指して～

研究期間 研究実施許可日 ～ 2026 年 3 月末

目標数 アンケート：28 例

2. 研究の対象

鹿児島医療センター東 3 階病棟の看護師 28 名（管理者を除く）

3. 研究の背景・目的・方法について

当病棟では患者さんが入院中に転倒・転落をしないように、転倒・転落パンフレットを用いて入院時に転倒・転落の危険性や注意してほしいことを説明しています。そして、病棟スタッフにて転倒・転落の危険性が高いと判断した患者さんは、同意の上センサー類などを使用し転倒・転落が発生しないように対策をしています。しかし、対策を行っても転倒・転落を予防できず、患者さんが転倒してしまうこともあります。患者さんのベッドサイドにてカンファレンスを行うことで個別性のある看護計画の立案に有効的であることが言われており、今回当病棟でも実際に患者さんのベッドサイドに赴き、ベッド周囲の環境を確認し、その場で転倒・転落予防対策について話し合いをさせていただきたいと考えています。そして、前年度と比べて転倒・転落発生件数が減少するのかを明らかにするためにこの研究を実施します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では転倒・転落の危険性があると判断した患者さんの元でベッドサイドカンファレンスを行います。転倒・転落の危険因子（年齢、認知症やせん妄の有無、疾病や内服薬など）の有無を電子カルテシステムを用いて情報収集をします。

5. 外部への試料・情報の提供・公表

個人が特定されないよう患者IDは削除し、番号にて匿名加工し対応表を作成し、鹿児島医療センターにて保管します。外部への情報の提供や公表の予定はありません。

6. 個人情報の保護について

この研究に利用される試料や診療情報などの研究データは、個人を特定できない形式に記号化した番号により研究責任者（又は研究責任者に指名された者）によって管理されますので、あなたの個人情報が研究組織外部に漏れることは一切ありません。この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

研究代表者 鹿児島医療センター 東 3 階病棟看護師 曾木 絵梨香

(1) 鹿児島医療センターにおける研究実施体制

研究責任者 東 3 階病棟看護師 曾木絵梨香

研究分担者 東 3 階病棟看護師 山崎聡子 澁谷幸子 谷崎知亜紀 東美希

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究は当院の運営費を用いて行われます。また、研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はなく、当院規定に基づく利益相反委員会での審査と承認を得ています。

9. 研究への情報利用の拒否・停止について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もありますのでご了承ください。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

(研究責任者)

鹿児島医療センター 東 3 階病棟 曾木絵梨香

鹿児島市城山町 8 番 1 号

TEL 099-223-1151 FAX 099-226-9246